# 復興支援センターだより 最終号

## 「民話について考えよう」多くの方にご参加頂きました

先月号でお知らせしました民話について考える会「民話について考えよう」を3回シリーズで開催し、民話の伝承に関心をお持ちの方々にお集まりいただきました。

2月7日に行われた初回では、震災以前に活動していた民話の会「杉っこ」について、中心となっていた方々に伺いました。以前は盛んに研修を行うなど技術の向上も積極的に取り組んでいましたが、震災後は活動がほとんどできない状態が続いています。ただお一人が小学校にて伝承活動を続けていらっしゃいます。

そこで、「杉っこ」の方々に色々な場所で語り継いでいる女川と宮城の昔話を語って頂きました。

お題は、「尾浦御殿」「金華山」「わらび長者」などをお聞きし、時代を超えた人間の喜びや悲しみ、また怒りや優しさなどが満ちあふれ、受講生みんなが物語の中に引き込まれ、感動しました。

民話は文字でも読むことができますが、女川独特の言葉・語り口で聞くことでより情緒豊かな世界観を感じる事ができます。

これからも、貴重な民話の文化の伝承に協力していきたいと思います。


女川町復興支援センター
女川町社会福祉協議会内
☎53-4333 FAX53-4336
http://shakyo-onagawa.or.jp/fukko/


## 女川町復興支援センター 3年間の足跡

女川町復興支援センターは、震災のあった平成23年3月17日に「女川町災害ボランティアセンター」として開設されました。

当初は女川第二小学校（当時）の校庭に設置されたプレハブでボランティアを受入れ、避難所や自宅に暮らす被災者に対する支援活動（炊き出し・住居の片付けなど環境の整備、緊急支援物資の対応など）に取り組んで来ました。

応急仮設住宅への移行が進み災害ニーズも減少してきた事から、同じ年の10月より、女川町復興支援センターと改称し仮設住宅への見回り・訪問活動を強化してきました。

▲H23年7月 マリンパルかたづけ

平成24年4月からは個別訪問活動から、行政区・自治会の活動を支援するべく、外部ボランティア団体の支援の調整やイベントの企画などを行って来ました。また、防災訓練や防災座談会の実施、福祉教育などに取り組んで参りました。

これまでのべ2000人を越える人からボランティア登録を頂き、1668件の活動ニーズにのべ7800人以上の方に活動して頂きました。地域環境が大きく変化した中で、住民に寄り添い地域の生活課題を把握して頂いたり、これを解決するために一連の働きをする役割を担って頂いたりと、多方面でご協力して頂きました。

住民が一日でも早く安心して暮らせる生活に近づき、元気になることを願い、「支え合う地域づくり」を目指していきます。

いつもご協力ありがとうございます。

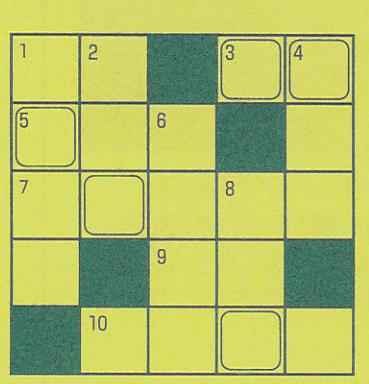
▲H24年2月 おせち料理を食べながらカラオケで楽しもう会（多目的仮設集会所）

### ボランティア・イベント等調整状況

| | 年度 | 平成22・23 | 平成24 | 平成25 |
|---|---|---|---|---|
| ボランティア | 登録数 | 1,450 | 544 | 120 |
| | 派遣件数 | 1,580 | 69 | 21 |
| | 派遣人数 | 7,027 | 686 | 377 |
| イベント | 派遣件数 | 901 | 281 | 160 |

※平成26年2月現在

## クロスワードパズル



★ヒント…
今までお世話になりました

**タテのカギ**

1 宮城・岩手・秋田にまたがる山
2 原因と結果
4 そうは○○が卸さない
6 鷲の一種。天皇に名を授けられたジュニアの反対
8

**ヨコのカギ**

1 後悔。○○を残す
3 不案内であること。○○い。
5 赤い実のなるバラ科の果物
7 親会社に支配されている会社
9 そうでないこと。○○あらず
10 鍵を差し込むところ

ブログ随時更新中！ 女川町復興支援センター 検索